様式第１

番　　　　　　　　　号

平成　　年　　月　　日

一般社団法人　日本皮革産業連合会　会長　殿

住所

事業者名

代表者氏名 　　　　印

平成　　年度革靴製造業経営改善事業補助金（事業名）交付申請書

　革靴製造業経営改善事業補助金交付規程第６条の規定に基づき、上記補助金の交付について、下記のとおり申請します。

　なお、経費の配分は、別添実行計画書のとおりです。

記

　１．　事業の名称

　２．　事業の内容

　３．　事業の効果

　４．　事業に要する経費の額

　５．　交付対象経費の額

　６．　補助金交付申請額

　７．　事業の開始及び完了予定日

以上

〔添付書類〕

１．（別添１）実行計画書

２．（別添２）役員名簿

３．連合会が発行した事業計画の認定通知の写し

４．暴力団排除に関する誓約書

５．その他連合会会長が必要と認める書類

**（別添１）**

実　行　計　画　書

１．　事業内容

２．　事業日程

３．　事業に要する経費、交付対象経費及び補助金交付申請額の算出基礎

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 区　　分  及　　び  費　　目 | 事業に  要する  経　費 | 交付対象  経　　費 | 算　出　基　礎 | | 補助金  の　額 | 備　考 |
| 事業に  要する  経　費 | 交付対象  経　　費 |
|  |  |  |  |  |  |  |
| 合　　計 |  |  |  |  |  |  |

４．　事業に要する経費の調達方法

　　自己資金 　　 　　 円

　　補助金交付申請額 　　 　 円

計 　　 円

**（別添２）**

役員名簿

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 氏名カナ | 氏名漢字 | 生年月日 | | | | 性別 | 会社名 | 役職名 |
| 和暦 | 年 | 月 | 日 |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |

（注）

　　役員名簿については、氏名カナ（半角、姓と名の間も半角で１マス空け）、氏名漢字（全角、姓と名の間も全角で１マス空け）、生年月日（半角で大正はＴ、昭和はＳ、平成はＨ、数字は２桁半角）、性別（半角で男性はＭ、女性はＦ）、会社名及び役職名を記載する。（上記記載例参照）。

　　また、外国人については、氏名欄にはアルファベットを、氏名カナ欄は当該アルファベットのカナ読みを記載すること。

別紙

平成　　　年　　月　　日

一般社団法人　日本皮革産業連合会

会　長　　　　　　　　　　　殿

住所：

事業者名：

代表者氏名： 　　 印

電話番号：

暴力団排除に関する誓約事項

当社（個人である場合は私、団体である場合は当団体）は、補助金の交付の申請をするに当たって、また、交付対象事業の実施期間内及び完了後においては、下記のいずれにも該当しないことを誓約いたします。この誓約が虚偽であり、又はこの誓約に反したことにより、当方が不利益を被ることとなっても、異議は一切申し立てません。

記

(１) 法人等（個人、法人又は団体をいう。）が、暴力団（暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成３年法律第７７号）第２条第２号に規定する暴力団をいう。以下同じ。）であるとき又は法人等の役員等（個人である場合はその者、法人である場合は役員、団体である場合は代表者、理事等、その他経営に実質的に関与している者をいう。以下同じ。）が、暴力団員（同法第２条第６号に規定する暴力団員をいう。以下同じ。）であるとき。

(２) 役員等が、自己、自社若しくは第三者の不正の利益を図る目的又は第三者に損害を加える目的をもって、暴力団又は暴力団員を利用するなどしているとき。

(３) 役員等が、暴力団又は暴力団員に対して、資金等を供給し、又は便宜を供与するなど直接的あるいは積極的に暴力団の維持、運営に協力し、若しくは関与しているとき。

(４) 役員等が、暴力団又は暴力団員であることを知りながらこれと社会的に非難されるべき関係を有しているとき。